第２回 新人助産師研修

於：山口県看護研修会館

「CTG モニタリング判読」
「陣痛促進剤使用の適応と管理」

講師：山口県立総合医療センター
総合周産期母子医療センター長
佐世　正勝　医師

令和３年８月７日（土）第２回新人助産師研修を開催し、14名が参加しました。前回と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながらの開催となりました。

午前中は「胎児心拍数図波形の定義」「胎児心拍数図波形の生理的な背景」について講義をしていただきました。胎児心拍モニターの基礎知識や波形の判読について、実際に CTG の波形を見ながら、判読の根拠や注意点も含めて詳しく説明していただきました。臨床で適切な対応をとるために、胎児心拍モニターの背景にある胎児の状態を考えながら判断することが大切であると話されていました。

午後からは「胎児機能不全の診断と対応」「分娩監視装置の実際」「薬剤投与の基礎知識」について講義をしていただきました。事例をもとにした具体的な内容で、正常逸脱時の対応方法についても学びを深めることができました。

最後に、妊婦さん・赤ちゃん・自分を守るために必要なこととして「入院時には必ず胎児心拍モニターを装着すること」「胎児 well-being の評価と reassuring の確認」「妊婦さんへ配慮しつつできるだけ連続胎児心拍モニターを行うこと」の重要性についてお話しいただきました。また、頭の中で基礎知識をしっかりと整理することの大切さについてもアドバイスをいただきました。

この研修での学びを臨床で活かし、助産師としてさらに成長されることを期待しています。

第３回新人助産師研修「産科ショック（出血時の対応）」は新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応のため、令和４年１月に変更となります。

第４回新人助産師研修：11 月 27 日（土）「母乳哺育支援」

山口県看護協会助産師職能委員会